

2023年4月度の観察記録

カテゴリ : 2023年

_MD_POSTEDON投稿者: [Zz.admin](#) 掲載日: 2023-4-9

2023年4月度の観察記録です。

```
Untitled Page .auto-style1 { text-align: right; } var gaJsHost = (("https:"  
== document.location.protocol) ? "https://ssl." : "http://www.");  
document.write(unescape("%3Cscript src='" + gaJsHost + "google-analytics.com/ga.js'  
type='text/javascript'%3E%3C/script%3E")); var pageTracker =  
_gat._getTracker("UA-3205823-1"); pageTracker._initData(); pageTracker._trackPageview();
```

2023年4月9日(日) 9:30~12:15 作成: 田畑恭子 監修: 瀧川正子
写真協力: 伊藤義人氏

参加者: 大人22名, 子ども29名 天気: 晴れ 芽吹き始めた木々の緑が美しい季節になりました。よく晴れて心地のいい風が時折吹く中、ここ数年では行っていなかった奥池まで歩き、さらに南尾根を通して帰る長い距離を移動しました。もうすっかり4月の自然観察会の定番となった**スバの幼虫**を見に行きました。例年通りの様子で新緑のマサキの葉に群がっているのを確認することができました。そのすぐ近くで子どもたちが見つけたのは**キバラヘリカメムシ**でした。その名の通り腹部の黄色が目立ちました。すぐ近くでクワの花が咲いていました。クワは雌雄異株で、6月に実をつけるこの株は雌株、花は雌花ということになります。そこへ**クワハムシ**が訪れていました。





ミノウスバの幼虫 キバラヘリカメムシ クワの雌花を訪れたクワハムシ **オオ続アツゲ**
リの実を観察しました。先月花を見た時にその名は実の形が由来となっているということが話題になり、実の観察は今月の宿題となっていました。アンズの木の新芽で**モモチョッキリ**を見つけた参加者があり、その美しい金属光沢を身にまとった姿にみんな感激していました。モモチョッキリは同じ木の別の枝にもう一頭いました。また落ちていた朽木の割れ目に**マクラギヤスデ**が隠れているのを子どもがを見つけました。



オオイヌノフグリの実 モモチョッキリ マクラギヤスデ

先月はギシギシの葉の裏は

ハムシの卵がたくさん産みつけられていましたが、この日ギシギシの葉を裏返すと孵化したばかりの幼虫を見つけることができました。中には幼虫に食べられてレース状になったギシギシの葉も見られました。辺りの草むらではハルジオンの花が咲き始めていました。茎の中がストローのように空洞になっているのを確認しました。また中道沿いのコバノミツバツツジやヤマツツジは満開の花をつけていました。



コガタルリハムシの幼虫 ハルジオン コバノミツバツツジ

里山の家近くのオタマジャクシ池で

はあまり見当たらず心配されたニホンアカガエルのオタマジャクシですが、田んぼの手前のヨシ原ではたくさん泳いでいる姿を見ることができました。田んぼのあぜ道ではレンゲの花が咲いていました。中には実になっているものもあり、さやが放射状に伸びていました。このさやはこのあとねじれて弾けるように種を遠くに飛ばすそうです。田んぼの周辺にはヌマガエルがはねていて、子どもたちがあとを追いかけていました。



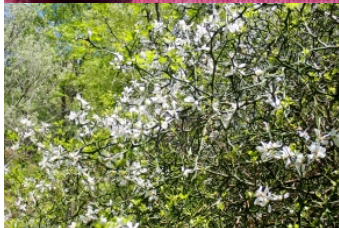
ニホンアカガエルのオタマジャクシ レンゲの実 ヌマガエル
この日はできるだけ長い距離を歩こうと、何度も参加者に声かけをして先に進むよう促した結果、11時前には田んぼを通過しました。その先のシキミの花を観察していると、参加者の一人がハラソを紹介してくれました。花は葉の根元の地面すれすれに咲いていて、教えてもらわなければ気づくのは難しそうでした。道沿いにはヒカゲノカズラが茂っていました。シダの仲間と紹介され意外と感じる参加者もいるようでした。





シキミの花 ハランの花 ヒカゲノカズラ

ハランの花の咲いていた葉が**カタチ**の**モドキ**の幼虫が出てきました。身体も脚も細く、特徴のある歩き方でゆっくりと動いていました。初めて見ると言う参加者が多くいました。**カラタチ**の白い花が目を引きました。その枝の上の方にムネアカハラビロカマキリの卵鞘がついていたので、駆除のため持ち帰りました。トウチク林を抜けると一重の**ヤマブキ**の花の鮮やかな色が目を引きました。





ナナフシモドキの幼虫 カラタチの花 ヤマブキ イロハミミジと聞くとその秋の紅葉の美しさがまず思い浮かびますが、春には春の姿があり、数えきれないほどの鮮やかな色の小さな花が咲いていました。ある参加者は「モミジのお花見」と表現していました。その先の花が終わったコブシの木には実がつき始めていました。急ぎ足でエニシダやサクラ、オオカマキリの卵鞘などを観察しながらさらに進み、ついに中道の終点、奥池まで到達しました。すぐそばにあるポンプで地下水をくみ上げ、せせらぎへ流しているとの説明を聞いたあと、南尾根を通して帰ることに決めました。歩き始めると道の脇にはアヤメによく似た雰囲気の花が見られ、**シャガ**と教えてもらいました。



イロハモミジの花 コブシの実 シャガ

南尾根道のそばやコバノガマズミが白い花を

咲かせていました。最後にオケラを観察しました。秋に可憐な白い花が咲く植物で、ここ東山の森ではこの場所で見つからないそうです。日当たりがよくないのが気かりとのことでした。



サワフタギ コバノガマズミ オケラ

久しぶりに南尾根を歩きました。尾根道には見るべきもの

が少なくて面白みがないという考えもあるようですが、何年かぶりに歩き以前に比べて木々が大きくなっているのに気づきました。長い年月の経過にしばし思いを馳せた今月の自然観察会でした。

平和公園での観察項目：マサキ、ミノウスバの幼虫、キバラヘリカメムシ、オオイヌノフグリの実、クワ、クワハムシ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、ナナホシテントウ、ヤブキリの幼虫、モモチョッキリ、アンズの実、コバノミツバツツジ、ヤマツツジ、マルカメムシ、ハルジオン、ニホンタンポポ、コガタリハムシの幼虫、ピロードツリアブ、ニホンアカガエルのオタマジャクシ、アシで作ったササ舟、スズメノテッポウ、アカメヤナギの実生、ヤナギルリハムシ、レンゲの花、レンゲの実、カラスアゲハ、スカシタゴボウ、ケキツネノボタン、ヌマガエル、ツメクサタネコバンゾウムシ、ボケ、シキミの花、ヒ

カゲノカズラ, ハランの花, イオウイロハシリグモ, ナナフシモドキの幼虫, 古木についたキノコ, カクレミノ, コナラ, カラタチ, ヤマブキ, ムネアカハラビロカマキリの卵鞘, コブシの実, エニシダ, オオカマキリの卵鞘, シャガ, サワフタギ, コバノガマズミ, アオハダ, オケラ, ウグイスの声, ツバメ
?